

そよ風



- 1 平成 25 年度テーマ別改善運動発表会
- 2～3 第 22 回東大和療育センター院内研究報告会
- 4 平成 26 年度事業計画
- 5 平成 26 年度主要行事計画
- 6～7 療育活動
- 8 QOL 向上プロジェクト・春の発表会
- 9
- 10 栄養科行事食

改善提案 2014 ～医療現場での取り組み～（テーマ別改善運動発表会）に参加して

第 4 病棟主査 高井 直人

最優秀賞を受賞した駒込病院の発表を聞き終えて、『おーっ、そーきたか…』と唸ってしまいました。がん専門病院であるため、化学療法などの副作用による食欲不振や味覚障害が生じやすい患者さんに、少しでも食事を楽しんでもらえるよう工夫をしたという内容でした。病院周辺が芥川龍之介や室生犀星など多くの文人が暮らしていた街であることに着目して、好んで食べていた料理を「芥川龍之介御膳」、愛した郷土の料理を「室生犀星・故郷の味」と題して、詳細な説明カードを添えて提供したという発想到に脱帽しました。

テーマ別改善運動は、都立病院を中心に患者サービスの向上や経営の効率化を目指して実施されており、他病院でも取り組むことができる具体的な改善提案ほど高く評価されるようです。今回、私たちは「ユニバーサルファッション」という提案をさせていただきましたが、一般病院への汎用性という点では提案内容の質自体が異なるようでした。

オリンピックと同様、『参加することに意義がある』ことはわかっている、出るからには…という気持ちもあります。重症心身障害関係施設だけでなく、一般病院でも取り組めるようなサービス改善提案の素がきっと私たちの周りにもあるのではないかと、ただそれに気づいていないだけなのではないかと、今はそんな気持ちで一杯です。大切なものはいつも自分の足元にある…豊かで斬新な発想力で見つけていきたいですね。

第 22 回 東京都立東大和療育センター院内研究報告会

開催日：平成 26 年 2 月 26 日 (水)

当センター開設当初から開催している院内研究報告会も今回で 22 回目を迎えることとなりました。毎年、日々の業務改善状況を確認しつつ、研究成果の発表を通して、学術的資質の向上とセンター内外の評価を受ける機会としています。

今回の報告は、院内から 8 演題・院外から 2 演題の計 10 演題の口頭発表となりました。特に優秀な研究については、外部学会等への発表および論文を専門誌に発表するようにしています。近く全演題を論文の形で補正し、研究報告集第 22 巻として発刊する予定です。

◆◆優秀賞◆◆

『経管栄養の重症心身障害者における保湿とブラッシングを組み合わせた口腔ケアの有効性』

第 1 病棟 斎藤淳子 (看) 他

『重症心身障害者通所施設における宿泊行事について』

あけぼの学園 白戸麻美子 (看) 他

◆◆努力賞◆◆

『重症心身障害者に対する下肢浮腫軽減の取り組み』

第 3 病棟 古菅美納 (看) 他

◆◆その他の演題◆◆

『水痘再感染 -水ぼうそうには 2 度かかる-』

医局 武田佳子 (医) 他

『当センターにおける長期入所者の食物形態、摂取方法の経年変化と摂食機能療法』

摂食・嚥下リハビリテーションチーム 吉野綾子 (看) 他

『重症心身障害児・者の服嚙み行為の軽減をめざした取り組み』

第 2 病棟 水落正巳 (看) 他

『行動障害を抱える重症心身障害者に対する P B S によるアプローチ』

第 4 病棟 公平頌子 (指) 他

『重症心身障害者に対する英国式リフレクソロジーの取り組み』

第 4 病棟 高井直人 (看) 他

『歩行グループ訓練の継続介入の経過と今後について』

リハビリテーション科 山崎理恵 (PT) 他

『特別支援学校からアシスティブ・テクノロジー (A T) を継続して活用するための環境整備』

よつぎ療育園 加藤一久 (指) 他

◆◆院内研究報告会を終えて◆◆

第 1 病棟看護師 齋藤 淳子

第 22 回院内研究報告会で優秀賞をいただきました。今回賞をいただくことができたのは、研究に協力して下さった利用者さんご本人と研究を進めるにあたりご理解ご協力頂いた歯科医師及び歯科衛生士、アドバイザー、病棟スタッフの皆様のおかげであり心よりお礼申し上げます。

研究開始当初研究メンバーの中で、どの方向で研究を進めていけばよいか意見が割れ方向性が見い出せなかった時は、この研究は進めていけるのだろうかと悩みました。まとめられて発表でき、賞をいただけるとは夢にも思っておりませんでした。さらに研究を開始してから A 氏が誤嚥性肺炎による発熱をしていないことが何より嬉しいです。今後も利用者様が健康に過ごせるよう努力していきたいと思えます。



◆◆優秀賞をいただいて◆◆

あけぼの学園看護師 白戸 麻美子

東大和療育センター院内研究報告会に参加させて頂き、優秀賞をいただくことが出来ました。今回の受賞は、貴センターの医師の皆様のご協力を仰ぎつつ、長年頑張ってお泊旅行事を続けてきたあけぼの学園の職員の労をねぎらったことと深く感謝申し上げます。これからも安全に楽しく宿泊旅行行事が続けられるよう、療育、医療スタッフの更なる連携を深めて取り組んでいきたいと考えています。



平成 26 年度事業計画

当センターは、重症児の年長化に対応するとともに、短期入所など在宅の重症児者への支援にも力点を置いた次世代型重症児者施設として開設されました。

運営については、開設当初から全国重症心身障害児（者）を守る会が東京都の委託を受けて管理運営を行ってきましたが、平成 18 年度以降は守る会が東京都の指定管理者として指定を受け運営しています。一回の更新を経て平成 27 年度まで指定管理者として運営を行うこととなっています。今年度の事業は、次のとおり推進してまいります。

- ・長期入所は、開設以来 18 歳以上の利用者が継続して利用しています。しかし、利用者の加齢などにより、人工呼吸器などの濃厚な医療が必要な利用者が増加しており、今後ともその対応やQOLの向上を図っていきます。
- ・短期入所は、長期入所者と同様、医療ケアが必要な年少の重症児の利用希望の増加に対応するとともに、新規利用者の受け入れにも力を入れ、利用率の向上を実現します。
- ・通所は、多摩地区の 10 市町から受け入れ、定員 30 名で運営しますが、受け入れ時間の多様化、臨時受入れの増加などサービスを充実していきます。
- ・外来は、患者の診察までの待ち日数の短縮を図るため、引き続き診療能力の向上に努めていきます。
- ・平成 26 年度も従来と同様、看護師を中心とした職員の確保・定着対策を進め、円滑な事業運営を図っていきます。

以上、今年度もセンターは、関係機関と連携し、より良い利用者サービスの提供を実現するため、職員が一丸となって事業推進に取り組んでまいります。

1 運営方針

- (1) 利用者ニーズや社会情勢の変化などを迅速に把握し、指定管理者制度を活かした効率的、効果的な事業運営を進めます。
- (2) 中期計画を着実に推進し、安全で安心できる、より質の高い療育サービスを提供します。
- (3) 短期入所の利用率向上、通所のサービス向上などを通じて、在宅支援事業の一層の充実強化を図ります。
- (4) 利用者家族などへの丁寧で分かりやすい説明と接遇の向上に努め、納得と信頼の施設の実現を目指します。
- (5) 職員の能力向上に向けた制度づくりを進め、高度かつ専門的な知識、技術を身につけた人材を育成していきます。
- (6) 関係法令及び各種規則・マニュアルなど、定められたルールを遵守し、正確で迅速な情報の共有化のもと、公平かつ公正に業務を遂行します。

2 事業内容

- (1) 入所・入院（医療型障害児入所事業・療養介護事業）

定床 128 床

1. 長期入所は 92 床で運営します。
2. 短期入所は 28 床で運営します。

3. 医療入院は 8 床で運営します。

4. 短期入所、医療入院は枠にこだわらず、日程調整により空床を利用して多くの在宅者が利用できるよう、病床利用率の向上を図ります。

(2) 外来診療 (診療事業)

1. 一日当たり 150 名の事業規模で運営します。

2. 診療室及び安全な歯科治療のための手術室の効率的な運用により、待ち日数の短縮を図ります。

3. 地域の医療機関との連携を促進し、心身障害児者の専門医療に対する要望に十分応えられるよう努めてまいります。

(3) 通所 (生活介護事業)

1. 在籍者 38 名 (4 名新規)、一日受け入れ人数 30 名で運営します。

2. ご家族の負担を軽減するため、通所バスは 5 台で送迎を実施します。

(4) 在宅支援

1. 医療ニーズの高い在宅の障害児者の増加及び在宅で障害者を支えてきた介護者の高齢化に対応し、障害児者の在宅生活を効果的にサポートする在宅支援室の活用を図っていきます。

2. 昨年度から開始した地域のかかりつけ医の重症児者医療への参画を図る「在宅医療ケア連携体制整備モデル事業」を、引き続き推進してまいります。

(5) 地域社会との連携

1. 市町村や特別支援学校などの健診事業への協力を通じて、地域医療の充実と向上に寄与します。

2. ボランティアの積極的な受け入れや入浴施設・プールの施設開放事業の推進、地域への普及啓発活動を通じて、障害児者を地域で支え合う基盤を築いていきます。

平成 26 年度主要行事計画

病棟・通所行事

●大行事

- 1 夏祭り 8月 8日 (金)
- 2 東大和フェスタ 10月 18日 (土)
- 3 クリスマス会 12月
- 4 ゆったり通所デイ 6月～7月
3 班に分けて実施する。

●小行事

- 1 季節の行事

- 1 七夕、夕涼み、お月見、節分、ひな祭り等
- 2 バイキング
年間 1～2 回、各部署毎に企画し実施する。
- 3 病棟合同活動
①駅前合同昼食会
②ポーリング大会
③その他

ボランティアによる音楽会

- 1 多摩スマイル吹奏楽 6月
- 2 駒澤大学高等学校吹奏楽 10月
- 3 東京都庁ジャズバンド 10月
- 4 東京都立東大和南高等学校吹奏楽 3月

リハビリテーション科イベント

- 1 初夏のダンスパーティー 6月 10日 (火)
- 2 ボッチャ大会 10月 28日 (火)
- 3 春の発表会 3月 11日 (水)

栄養科行事食

- 1 お花見弁当 4月
- 2 こどもの日 5月 5日 (月・祝)
- 3 お楽しみ弁当 6月
- 4 七夕食 7月 7日 (月)
- 5 土用の丑の日 7月 29日 (火)
- 6 開設記念日 8月 1日 (金)
- 7 夏祭り 8月 8日 (金)
- 8 秋分の日 9月 23日 (火・祝)
- 9 東大和フェスタ 10月 18日 (土)
- 10 文化の日 11月 3日 (月・祝)
- 11 クリスマス会 12月
- 12 クリスマス食 12月 24日 (水)
25日 (木)
- 13 年越しそば 12月 31日 (水)
- 14 おせち料理 1月 1日 (木)
～ 3日 (土)
- 15 七草 1月 7日 (水)
- 16 節分 2月 3日 (火)
- 17 バレンタイン 2月 14日 (土)
- 18 ひな祭り 3月 3日 (火)

■日程は変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

療育活動

スイーツバイキング

第 1 病棟保育士 豊川 尚平



白銀の世界 !!

第 2 病棟指導員 福原 雄也

2月某日、数十年ぶりに降った大雪により、センター周辺も白銀の世界へと一変しました。普段と違う景色に利用者の皆さんも大興奮。あちこちに雪ダルマやカマクラが出来上がり雪国に来たような景色です。

雪の中での遊びはなかなか体験することができませんが、今回、特別製のそり?を作成しました。雪の中をそりに乗って疾走し、日常では体験することの出来ない特別な日になりました。そう、気分はまるでオリンピック選手!! 冬季オリンピックイヤーだったこともあり、スノーボードやスキーの選手になったかのような夢の体験ができました。



バレンタイン企画

第 3 病棟指導員 松重 泰晴

バレンタインの定番曲『バレンタインデー KISS』の流れる中、棟内バレンタイン企画が忘れもしない大雪の日、2014 年 2 月 14 日（金）に催されました。

利用者さんが、デイルームに集合しリボンを 1 本ずつ選び名札をつけ、その先の利用者さんとカップリングゲームでたくさんのステキなカップルが成立しました。男女比が異なり女性の利用者さんが少なかったのですが、見事？女性は全員異性とカップルになることができました。当然？男性同士のカップルも誕生しましたが、みんな仲良く？カップルは 2 人で寄り添いピンクのかわいいフォトフレームで記念写真を撮りました。

栄養科にお願いしていたチョコレートファウンテンで白か黒の好きな方のチョコレートを選び、イチゴ、バナナ、カステラにチョコレートをからめ温かい飲み物と一緒にカップルで食べました。

当日は大雪のため思いがけず、以前第 3 病棟で勤務していた通所職員が応援に来てくれて、これまた楽しい活動となりました。



雪遊びを楽しみました!!!

第 4 病棟指導員 阿部 禎夫

ずいぶん前のように感じますが、今年の 2 月には 2 度も大雪が降りましたね。ご自宅等の雪かきで、大変な思いをした方も多いのではないのでしょうか。

1 度目の大雪後の 2 月 9 日（日）、われらが第 4 病棟でも中庭のテラスや果樹を保護するネットの上に大量に雪が積もったため、やはり雪かきをするはめに……。しかし、転んでもただでは起きない第 4 病棟が誇るそろって 40 代のおやし職員達、「この機会を逃してたまるかー!!!」とばかりに、雪かきついでにかなり大きなかまくら&雪だるまをテラスに作り上げてしまいました。



利用者の皆さんにも近くで触れてもらったり中に入ってもらったりしたのですが、とても新鮮な経験だった様子。まさに笑顔満載、見慣れぬ雪にドキドキの顔も満載？でした。



さらに 2 月 11 日（火）の夜は、かまくらの中でロウソクを灯して厳かな雰囲気 연출……。利用者の皆さんもテラス前に集合して、とってもきれいな光景を眺めながら即席のディナーを楽しみました。窓の外を見つめる利用者の皆さんの表情を見ていると、こんな素敵な時間を過ごせていることがとても嬉しく感じられました。ならば来年もたくさん雪が降ってほしいかと問われると、う〜ん……。となってしまうのですが……。

■ QOL 向上プロジェクト ■

イタリアンレストランと人生初の合コンに参加してきました！ QOL 向上委員会看護師 吉野 綾子



「はじめまして！私は○病棟の○○です。趣味は…」

男性 2 名に女性 2 名、4 つの病棟の利用者さんたちは、料理を待つ間に自己紹介や趣味の話、質問コーナーで盛り上がりました。皆さんそれは嬉しそうで、ちょっと照れている方もいました。そう、今日はレストランでの食事会だったのです。

QOL 向上委員会では、“利用者さんに外食を楽しんでいただきましょう”、“普段話す機会の少ない他の病棟の方たちと交流しましょう”ということで、各病棟 1 名ずつ参加の合同ランチを 2 回計画しました。

レストランに行く前に、シェフと何回か打ち合わせを行い、メニューの変更や普段より柔らかくするなど配慮していただきました。コース料理はどれも美しく、美味しく、量もたっぷりありました。料理が出てくるのがあまりにゆっくりで、途中ウトウトされる利用者さんも…。今日はダイエットも気にせず、皆さん美味しい料理を堪能されたようです。ごちそうさまでした…。

ところで、胸がときめいた方はいましたか？

■ 2013 年度 春の発表会 ■

リハビリテーション科理学療法士 小林 愛

さあ、やってきました～春の発表会！！

リハビリテーション科では、長期入所の方を対象として認知発達別に 5～8 名位のグループに分け、認知発達に応じた課題や活動を提供しています。それぞれのグループの活動や取り組みの様子を皆に披露するのが、この「春の発表会」です。今回はこけぴよ、宙組、ボーイズ、月組、レディース、のグループが発表しました。

さて、どんなことを発表したのか？皆さん気になりますよね？？簡単に紹介すると～、こけぴよ Gr. では職員のギター&ピアノに合わせての太鼓やタンバリンをトントン♪ 楽器演奏、宙組はゆったりとした歌に合わせて口&足のマッサージ、ボーイズは今ハマっている音楽や趣味を発表しました。月組はタンゴの曲に合わせて車椅子ダンス、レディースは手芸活動の成果を発表しました。各グループの特徴や雰囲気を知りやすく発表することができたと思います。出演者の皆さんが得意げに披露している姿がとっても素敵でした。ぜひ皆さん、見に来てくださいね～。





栄 養 科 行 事 食



そよ風第 76 号

編 集 院内報そよ風編集委員会
 発行日 平成 26 年 4 月 15 日
 発 行 東京都立東大和療育センター
 東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10
 ☎ 042-567-0222
 印 刷 有限会社 はじめ印刷
 ☎ 042-560-3031

編集後記

この冬は、記録的な大雪でみなさんご苦労なさいましたね。でも、穏やかな春はすぐそこに来ています。みなさんで素敵な春の風を早く感じたいですね。(M.K)

今年は例年にない大雪、寒さも厳しい冬でしたね。春の訪れに感謝です。さて、この春には各部署で新顔さんを迎えています。本年度も、利用者さん、スタッフと一緒にセンターを盛り上げていきましょう！(T.U)